

自ら予定を立て、自力で学習を進める

—学習時間の目安60分～70分—

理解しましょう 小学校5・6年は、こんな時期です。

育ちや学びの特徴

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- 考える力も大人並になり、時には大人への反抗も見られます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校につながる大切な学年です。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。

学習内容の特色（学校で）

- 「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 学習内容が多くなる上に、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。

家庭学習のつぼ!! 3か条

その1 予定を立て、計画的な学習を！ ～勉強時間を決めて～

- 放課後も慌ただしく過ごす子どもが多く見受けられます。その日の予定を立て、見直しをもって学習させましょう。必ず学習する時間帯の設定をさせましょう。
最初は、予定通りできないこともありますが、長い目で見守りましょう。

その2 今一度、基本的な生活習慣の見直しを！ ～生活にリズムを～

- 生活リズムの乱れは、勉強ざらいにつながります。「早寝早起き、夜更かしをしない」「朝食をとる」「朝に排便を済ませる」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣の見直しをさせましょう。
家事の分担も積極的に進めましょう。テレビやゲームを夢中になって、時間がだらだらと長くなることがあります。けじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることにもなります。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。

その3 目標に向かって努力することの大切さを！

- 子どもの将来の夢や希望、勉強する目的や勉強方法、学校の学習の様子や親の失敗談などを話題にして、目標をもって努力することの大切さを伝えましょう。どれだけががんばったのかが大切です。

小学校5・6年生の 家庭学習は こんな内容・方法で

○これはできるように

- ・ これまでに学習した漢字の読み書き
- ・ これまでに学習した計算や作図が確実にできるように
- ・ ローマ字の読み書きができるように
- ・ 都道府県の名前位置がわかるように
- ・ 歴史の出来事、歴史上の人物名がわかるように
- ・ 様々な産業に関心を持つ

○こんなことをしてみたら

- ・ 読書 音読 暗唱 詩や俳句などをつくる
- ・ 有名な詩や俳句などの暗唱
- ・ 漢字練習
- ・ 教科書の問題・ドリル・問題集などをする
- ・ 地図で地名を覚える
- ・ ニュースの感想を書く
例：新聞の切り抜きにコメントを書く
- ・ 分からないことを図鑑や辞書などで調べる
- ・ 実験の手順・結果などをまとめる
- ・ 自然（花 虫 星など）の観察をする
- ・ いろいろなもののスケッチをする

国語

○ はっきり・すらすら読み

- ・ 本を、声に出してはっきりした声で音読しよう。
- ・ 句読点や会話文に気をつけ、情景や気持ちを考えて読もう。
- ・ 詩や短文、俳句や短歌の暗唱しよう。

○ 書きの練習

- ・ 漢字の読み書きのくり返し練習しよう。
- ・ 字形、書き順、送りがなに気をつけて、ていねいに書こう。
- ・ 感想文や作文、日記を書いてみよう。
- ・ わからないことばを、辞書などで調べよう。
- ・ ローマ字の読み書きになれよう。

算数

○ 計算の練習

- ・ 算数ドリルや教科書の問題（計算・文章問題）を、正しくできるように練習しよう。

※ はじめは、速さをあまり意識せず、楽しみながら正しく計算ができるようにしましょう。正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて練習するようにしましょう。

※ まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように、ときには、手順を唱えながら練習してみよう

その他

- 都道府県の位置や県名を覚えたり、世界の主な国の位置を調べよう。
- 歴史年表を作ったり、時代の特ちょうを調べたりしてみよう。
- 歴史上の人物について、くわしく調べてまとめたりする。
- 理科の観察や実験のしかたやわかったことについてまとめよう。
- 学習していて疑問に思ったことを、本やインターネットを使って調べよう。
- 習った英語を使って、会話を楽しもう。
- 学校で学習した内容を家庭で実践したり、生活の中に生かしたりできるようにしよう。

ご家庭では、こんな援助をしてあげましょう

- 考える力が大人並みになり、自我が目覚め自分の考えを強く主張するようになります。
- 「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、認め

たり励ましたりすることが大切です。

- 家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにしましょう。
- 学習する場所を決め整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。